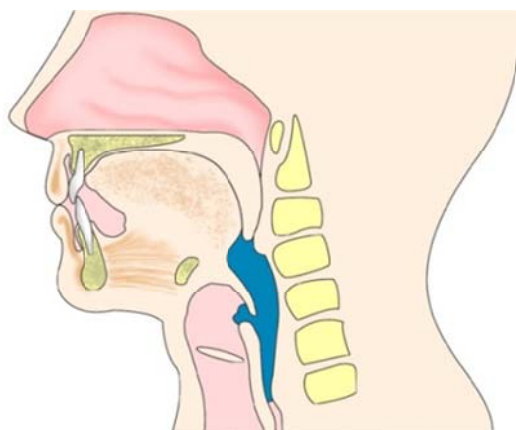


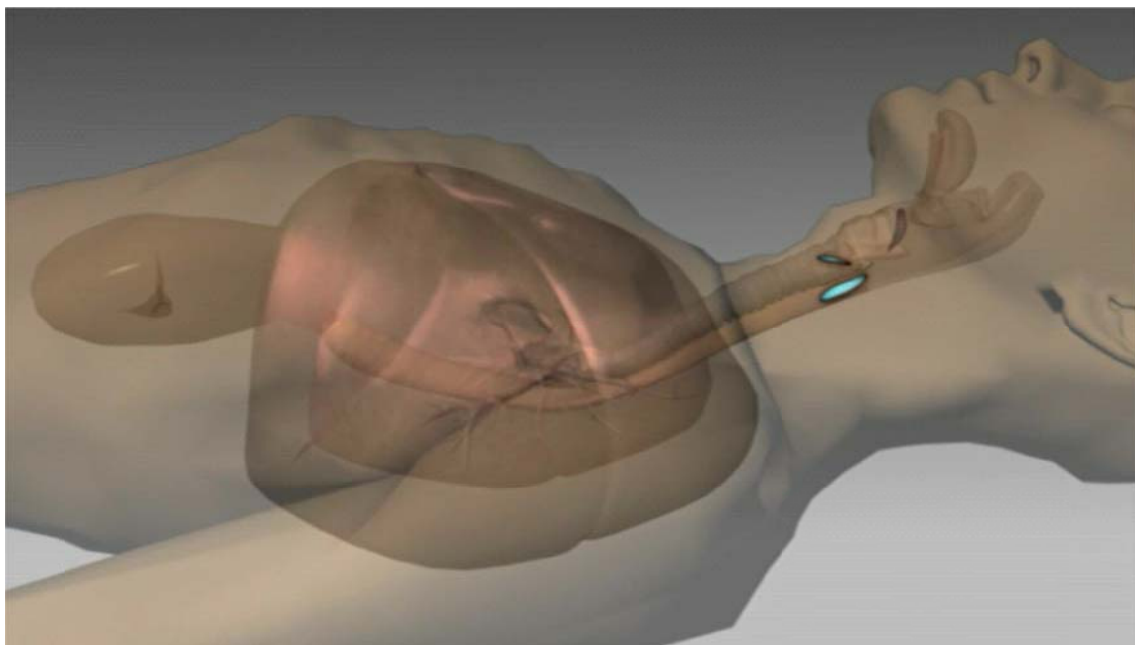
災害時に起こりやすい誤嚥性肺炎

-虚弱高齢者や要介護者の方へ-

虚弱高齢者や要介護者は、飲み込む力や飲み込む時の気管のフタの反射が低下しており、誤って唾液や食物が気管に入ってしまうことがあります。さらに、災害時によるダメージや低栄養から肺炎の発症率(阪神・淡路震災後2か月以内の関連死922名のうち肺炎が24%)が高まります。



この誤嚥(誤って気管に飲食物が入ること)は、食べているときだけではなく、就寝中にも起こります。そのため、災害中にも口腔ケアが必要となります



是非、歯科支援隊から「水の使用を最低限にしなければならない被害地方の方の口腔ケア」の指導を受けてください。高齢者や嚥下障害者は、口内を拭くだけでは肺炎リスクが高くなります。

(社)全国在宅歯科診療・口腔ケア連絡会